

令和4年7月1日から

「有料指定ごみ袋・指定シール」が変わります②

有料指定ごみ袋のサイズと価格を見直し、ごみの排出抑制や分別により、ワンサイズ小さいごみ袋へ切替える「**ごみダイエット**」を推進すること、さらなるごみの減量化・資源化を図ります。

新しい有料指定ごみ袋の販売は

令和4年7月1日から

市では、有料指定ごみ袋のサイズと価格を見直し、新しいごみ袋と新しい大型ごみシールを令和4年7月1日から販売します。

新しい有料指定ごみ袋への

計画的な切替えを

現在の有料指定ごみ袋・指定シールは、令和4年6月30日まで販売し、令和4年9月30日まで使うことができます。この期間に計画的に切り替えてください。

使い切れなかったごみ袋の

対応について

令和4年9月30日までに使い切れず残った場合は、市民の皆さんの不利益とならないよう対応する予定です。対応方法については、決定次第お知らせします。

新しい有料指定ごみ袋等のサイズと価格 (令和4年7月1日から)

家庭用有料指定ごみ袋 (10枚入り)	
大 (40ℓ)	480 円
中 (28ℓ)	336 円
小 (18ℓ)	216 円
特小 (10ℓ)	120 円
大型ごみ指定シール (1枚)	
—	420 円

事業所用 (燃えるごみ専用ごみ袋) (10枚入り)	
大 (40ℓ)	768 円
事業所用ごみ袋 (10枚入り)	
小 (20ℓ)	384 円

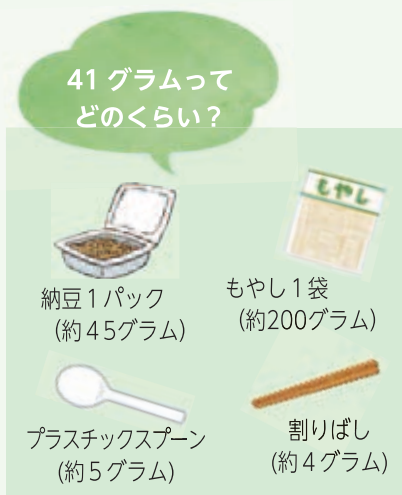
※事業所用 (大) 以外は、「燃えるごみの日」にも「燃えないごみの日」にも使えます。

燃えるごみ20%減量のために

目指せ！1人1日41グラム減量！

本市では、令和11年度までに、家庭系の燃えるごみの量を平成30年度と比べて約20% (4,647トン) 減量することを目指しています。

目標を達成するためには、市民1人1日当たりに換算すると約41グラムの減量が必要です。



「**ごみダイエット**」の推進でさらなるごみの減量化・資源化を無料で回収するプラスチック製容器包装の分別促進や紙類の分別の徹底、食品ロスの削減などに取り組み、「**ごみダイエット**」を推進し、ご

みの減量化・資源化を進めましょう。

ごみの減量化・資源化で負担は減

有料指定ごみ袋のサイズと価格を見直しますが、ワンサイズ小さいごみ袋へ切替えることで、プラスチック製容器包装の分別回収が始まる前と比べて、ごみ袋代の負担は少なくなります。

その他の手数料も変更になります

市が臨時に収集、運搬する場合の手数料、処理施設へ自ら搬入する場合の手数料についても見直します。

変更となる手数料 (令和4年7月1日から)

種 別	手数料
市が臨時に収集、運搬する場合の「臨時ごみ収集運搬手数料」(2トン車1台につき)	2,200 円
RDFセンター、リサイクルプラザに自ら搬入する場合の「自己搬入ごみ処分手数料」(10キログラムにつき)	220 円

■ 問合せ 環境業務課

(☎ 412723)

子どもたちに美しい川や海を残すために 「水洗化促進キャンペーン」

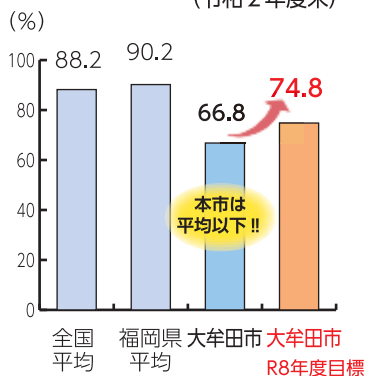
市内には、4つの水系（隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川）があり、水洗化されていない世帯からは未処理の生活排水が流れ込み、川の汚れの主な要因になっています。

川の汚れは、以前と比べると改善傾向ですが、水の汚れの指標であるBOD（生物化学的酸素要求量）の測定では、水質の改善が必要な地点が見られます。

また、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置促進などの水洗化を進めているものの、水洗化・生活雑排水処理率（※1）は66・8%と低い状況です。

本市では、令和4年度から8年度までの5年間、子どもたちに美しい川や海を残していくために水洗化促進キャンペーンを行い、8年度の水洗化・生活雑排水処理率74・8%を目指します。

水洗化・生活雑排水処理率の状況
(令和2年度末)



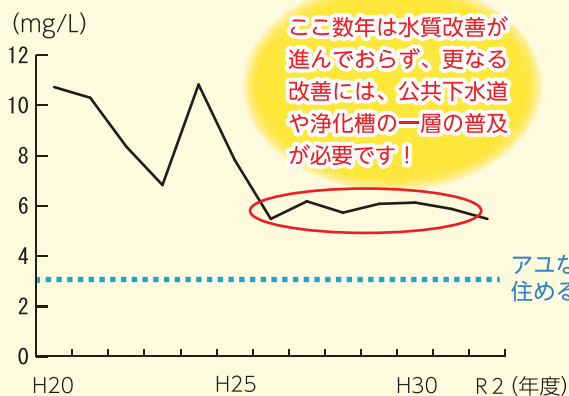
主な取り組み内容

- 商業施設等での街頭啓発
- 地区公民館等での水洗化相談会
- パンフレット配布
- 下水道・浄化槽に関する奨励金などの各種支援
- 環境関連イベント開催



※1 水洗化・生活雑排水処理率＝行政区域内人口における公共下水道等への接続や合併処理浄化槽を設置している人口の割合

流入水路 BOD



生活排水対策は、私たちが日常生活で使用する台所や風呂、洗濯などの排水をきれいにすることが重要です。

堂面川、白銀川、隈川へ生活排水が流入する4カ所の水路について水質調査を行ったところ、BODの値はH26年度から横ばい状態が続いています。

また、平成17年から大牟田市全域が生活排水対策重点地域(※2)に指定され、現在もまだ指定を受けている状況です。

※2 生活排水により環境基準が確保されておらず、生活排水対策を実施することが特に必要な地域について県知事が指定するもの

処理形態別の件数

処理形態	件数
公共下水道	30,967
合併処理浄化槽	5,147
単独処理浄化槽	913
くみ取り	16,944

「水洗化促進」と持続可能な

開発目標 (SDGs)

家庭から排出される汚れた水をきれいにする生活排水対策は、川や海の水質改善に繋がり、地域環境を保全します。



問合せ 環境業務課

(☎ 412720)

子どもたちの学習の様子

←環境教室

水生生物を捕まえて観察しています



生物教室→
川に住んでいる水生生物から、川の水質について考えます

